

# SGLT2阻害薬患者指導箋の使い方

## ● SGLT2阻害薬患者指導箋の構成について

- ✓ SGLT2阻害薬患者指導箋は医療従事者が患者へ服薬指導をする際に利用することを目的に作成しています。
- ✓ 本指導箋の使用方法については、最初に本紙「使い方」をご一読の上、ご利用ください。
- ✓ 本指導箋は各項目が「患者交付用」と「医療従事者用」の一对となるように作成されています。
- ✓ 本指導箋は下記で構成されています。
  - ①SGLT2阻害薬の効果 ②低血糖 ③脱水 ④水分補給 ⑤ケトアシドーシス
  - ⑥性器感染症・尿路感染症 ⑦シックデイ ⑧その他の注意事項

## ● ①SGLT2阻害薬の効果の指導箋について

- ✓ 服薬アドヒアランスを維持向上させるため、薬の効果の指導は重要です。ときに具体的な指標や数値も示すと良い指導につながると考えられます。
- ✓ **処方された薬剤と適応症のチェックボックスに印をつけて**指導に用いてください。
- ✓ 患者の疾患や治療目的に応じて、医療従事者が適切な指導内容を選択し、指導してください。

## ● ②から⑧の注意事項の指導箋について

- ✓ SGLT2阻害薬服用中の副作用や注意してほしいことを解説しています。複数のページに渡りますので一度に全てを説明すると患者の理解が追い付かないことも考えられます。医療従事者は、患者の理解力や必要性に合わせて使用する指導箋を取捨選択してください。
- ✓ 各指導箋の最上段には **[注意事項名] 指導の重要度**を重要性が高い順に赤→黄→青に色分けして3段階で表示しています。(☞次頁を参照)。

### [ 注意事項名 ] 指導の重要度

1型糖尿病

2型糖尿病

慢性腎臓病

慢性心不全

- ✓ [注意事項名] 指導の重要度の色分けは、2023年6月までの論文を精査した結果によるエキスパートオピニオンに基づいています。
- ✓ SGLT2阻害薬の主な副作用の頻度は、③脱水>⑥性器感染症>⑤ケトアシドーシスと考えられます。頻度の高い副作用は服用初期から説明しておく効果的です。
- ✓ SGLT2阻害薬の重篤な副作用としては、⑤ケトアシドーシスが挙げられます。

## ● 免責事項について

- ✓ SGLT2阻害薬は薬剤により適応症が異なりますので、最新の電子添文を参照してください。
- ✓ **薬剤が異なってもSGLT2阻害薬の効果ならびに副作用の頻度や重篤度は共通である(クラスエフェクト)**という認識で指導箋を作成しています。
- ✓ この指導箋の著作権は日本腎臓病薬物療法学会に帰属します。指導箋を配付する際にはクレジットを消さないでください。内容、テキスト、画像等を変更することは禁止します。指導箋の内容を引用する場合には必ず出典を記載してください。
- ✓ この指導箋を用いた服薬指導においては、使用する医療従事者の責任の元で使用してください。患者の治療効果および転帰等に関して一切の責任を負いかねますことを、あらかじめご了承ください。

	1型糖尿病	2型糖尿病	慢性腎臓病	慢性心不全
②低血糖		※		
③脱水				
④水分補給				
⑤ケトアシドーシス				
⑥性器・尿路感染症				
⑦シックデイ				
⑧その他の注意事項				

※：低血糖リスクが高い併用薬がある場合

## ● 疾患別の服薬指導計画の実例

### 糖尿病患者の場合

- ✓ 初回指導では、①SGLT2阻害薬の効果、⑤ケトアシドーシス（特に1型糖尿病）、⑥性器感染症・尿路感染症（特に女性）について説明します。また、⑧その他の注意事項の体重減少効果を念頭に、③脱水、④水分補給についても十分な説明を行います。
- ✓ 服用開始後の効果を確認しながら⑧その他の注意事項を説明します。
- ✓ 1型糖尿病患者および低血糖リスクが高い薬（インスリン、SU薬、速効型インスリン分泌促進薬）を併用する2型糖尿病患者には②低血糖について説明します。
- ✓ ③脱水、⑥性器感染症・尿路感染症、⑦シックデイの継続した患者教育が大切です。

### 慢性腎臓病患者の場合

- ✓ 初回指導では、①SGLT2阻害薬の効果、③脱水、④水分補給、⑧その他の注意事項について説明します。
- ✓ 患者の理解度を確認しながら⑥性器感染症・尿路感染症、⑦シックデイについて指導します。
- ✓ 脱水を起こしやすい高齢者や、利尿薬を使用している患者については、③脱水、⑦シックデイについて継続した患者教育が大切です。

### 慢性心不全患者の場合

- ✓ 初回指導では他の利尿薬と水分制限の有無を確認し、①SGLT2阻害薬の効果、③脱水、④水分補給、⑧その他の注意事項について説明します。
- ✓ 患者の理解度を確認しながら⑥性器感染症・尿路感染症について説明します。

※上記はあくまで例であり、患者背景や併用薬などによって服薬指導内容は適宜変更してください。

## ● 作成組織

日本腎臓病薬物療法学会 CKD患者のSGLT2阻害薬至適使用推進ワーキンググループ

班長	浦田 元樹	社会医療法人寿楽会 大野記念病院 薬剤部
副班長	三星 知	社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院 薬剤課
班員	内田 裕之	独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院 薬剤部
班員	大湊 愛	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟労災病院 薬剤部
班員	木下 照常	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 薬剤部
班員	杉本 悠花	特定医療法人 光晴会病院 薬剤科
班員	等 浩太郎	金城学院大学 薬学部
班員	守田 彩文	医療法人社団陣内会 陣内病院 薬剤部
協力員	堀之内 恵乃	特定医療法人 光晴会病院 栄養科
アドバイザー	平田 純生	I&H株式会社 学術研修部
アドバイザー	田中 章郎	社会医療法人宏潤会 大同病院 薬剤部

## ● 利益相反（COI）開示

2021年4月1日～2023年3月31日までの利益相反状況を示す。

利益相反に関する指針，細則，報告事項は，日本腎臓病薬物療法学会のウェブサイトでご確認頂きたい。

班長	浦田 元樹	該当なし
副班長	三星 知	該当なし
班員	大湊 愛	該当なし
班員	木下 照常	該当なし
班員	杉本 悠花	該当なし
班員	等 浩太郎	該当なし
班員	守田 彩文	該当なし
協力員	堀之内 恵乃	該当なし
アドバイザー	平田 純生	該当なし
アドバイザー	田中 章郎	該当なし

内田裕之氏（関東労災病院薬剤部）は，ワーキンググループの班員であったが，2023年4月に異動したことを受け，班員を退任した。退任前の利益相反はなし。

## ● 謝辞

本指導箋の作成にあたり，貴重なご助言を賜りました日本腎臓学会に深謝申し上げます。